

単位数	1	学科（型） 学年	工業科 2年	教科書 副教材等	新高等保健体育（大修館書店） 新高等保健体育ノート（大修館書店）
学習目標		1 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 2 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 3 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれぞれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。			
学期	学習内容			学習のねらい	
1	第3単元 生涯を通じる健康 1 思春期と健康 2 性意識の変化と性行動の選択 3 結婚生活と健康 4 妊娠・出産と健康 5 家族計画 6 加齢と健康 7 高齢社会に対応した取り組み			・思春期における心身の発達について考え、起こりやすい健康課題について理解する。 ・自分の行動への責任感や異性の理解と尊重の必要性について理解する。 ・結婚生活における夫婦関係、親子関係による健康への影響について理解する。 ・妊娠や出産の過程における健康課題や妊娠、出産期に活用できる母子保健サービスについて理解する。 ・家族計画の意義と人工妊娠中絶が心身に与える影響について理解する。 ・高齢期の健康課題や若年期の生活習慣が中高年期の健康に影響することを理解する。 ・高齢者の暮らしや健康を支えるために必要な社会の取り組みについて理解する。	
2	8 働くことと健康 9 労働災害の防止 10 働く人の健康づくり 第4単元 健康を支える環境づくり 1 大気汚染と健康 2 水質汚濁・土壌汚染と健康 3 健康被害を防ぐための環境対策 4 環境衛生に関わる活動 5 食品の安全性と健康 6 食品の安全性を確保する取り組み			・働くことの意義と働く人における健康問題について理解する。 ・労働災害を防止するための様々な取り組みについて理解する。 ・職場での心身両面にわたる積極的な健康づくり活動について理解する。 ・地球規模で起きている大気環境の問題について理解する。 ・水質汚濁、土壌汚染による健康への影響について理解する。 ・環境汚染による健康への影響を防ぐために行われている対策について理解する。 ・生活環境を保全するためのごみ処理や上下水道の整備の現状と今後の課題について理解する。 ・人々の健康を支えるためには食品の安全性の確保が重要であることを理解する。 ・食による健康被害を防ぐための消費者が果たす役割について理解する。	
3	7 保健制度とその活用 8 医療制度とその活用 9 医薬品の制度とその活用 10 様々な保健活動や対策 11 誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり			・健康の保持・増進には保健サービスの適切な活用が必要であることを理解する。 ・医療サービスの適切な活用方法について理解する。 ・医薬品は、使用法に関する注意を守り、正しく使う必要があることを理解する。 ・日本や世界では健康課題に対応した保健活動や対策が行われていることを理解する。 ・健康を支える環境づくりへの積極的な参加が自他の健康につながることを理解する。	
評価の観点		内 容			
知識・技能		・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。			
思考・判断・表現		・健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。			
主体的に学習に取り組む態度		・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれぞれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む学習に主体的に取り組もうとしている。			
評価方法	学習状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の三つの評価の観点で評価します。主に「出席状況」、「授業中の態度や取り組み姿勢」、「提出物」、「定期考査」等により評価します。また、学年の成績は上記の観点から評価した各学期の成績の相加平均とし、5段階法でも評価します。				
学 習 に 対 す る ア ド バ イ ス と 留 意 事 項					
○ 定期考査は授業の内容から出題します。対策プリントが配布された場合は各自でしっかり復習を行ってください。 ○ 授業の50分間を大切に、積極的に取り組みましょう。 ○ 課題は必ずやりましょう。ていねいに取り組み、提出期限は守りましょう。					